

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	宮崎県	事業実施主体	宮崎県、延岡市	地域再生計画名	便利で安全！つながるみんなの都市づくり
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	宮崎県農村整備課長、森林経営課長、延岡市総合農政課長、林務課長		

	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数	達成数					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	農林業振興及び森林機能の改善（間伐実施区域面積の向上）	0ha	H27	15ha	H30	16ha	25ha	R2	40ha	○	4	2	林道整備やそれに通じる農道整備により、森林施業の効率化及び生産コストの低減が図られ、森林整備が促進さ目標値を達成できた。
	指標 2	農林業振興及び森林機能の改善（特用林産物の生産拡大）	430t	H27	490t	H30	433t	550t	R2	408t	×			林道整備やそれに通じる農道整備により、アクセス機能の向上や販路拡大が図られたが、生産者の高齢化により、現状では目標値を下回った。
	指標 3	農林業振興及び森林機能の改善（新規就農者の確保）	4人	H27	16人	H30	35人	24人	R2	45人	○			林道整備やそれに通じる農道整備により、森林施業の効率化及び生産コストの低減が図られ、関連事業の林業担い手総合対策事業等の実施により目標値を達成できた。
	指標 4	主要観光施設利用者数（年間）の増加	915千人	H27	980千人	H30	1180千人	1050千人	R2	716千人	×			農道及び林道の整備による効果により、山間部のレジャー施設等を訪れる人が増加していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により現状では目標値を下回った。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1	中山間地域・営農団地と広域交通施設までのアクセス改善（延岡地区集出荷選果場～日向地区集出荷選果場間）	60分	H27	55分	H30	55分	40分	R2	55分	×			林道整備やそれに通じる農道整備を年次的に行ってきたが、事業費の確保ができなかったため、現状では目標値を下回った。今後、広域農道整備を他事業で行う。
	指標 2	中山間地域・営農団地と広域交通施設までのアクセス改善（中山間地域（北方町上鹿川地区）～蔵田IC間）	60分	H27	55分	H30	55分	50分	R2	50分	○			林道整備やそれに通じる農道整備を年次的に行ってきたが、事業費の増加により、整備延長の実績を達成できなかったが、目標値は達成できた。引き続き、林道整備を本事業で行う。
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度（H30）	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	農道整備事業（整備延長）		3,682	2,024	2,376	今回の路線整備により、アクセス機能が向上し、農林産物の輸送体系の合理化により、農林業の振興に繋がった。また、観光交流も活発化した。しかし、目標値に達していないため、引き続き整備が必要である。								
	林道整備事業（整備延長）		7,620	2,914	4,495	林道整備により今まで森林施業が困難であった地域について充実した森林へのアクセス改善が図られた結果、間伐実施面積の増となった。しかし、目標値に達していないため、引き続き整備が必要である。								
その他の事業														
計画外で独自に実施した事業	森林整備事業		森林整備事業等の制度を活用した循環型林業の推進。			間伐実施の推進が図られた。引き続き取り組みを強化したい。								
	林業担い手総合対策事業		研修活動を通じた担い手の育成、林業技術者の養成支援育成。			林業研究グループの研修活動を通して、新たな林業の担い手を確保できた。引き続き取り組みを強化したい。								
	6次産業化関連事業		農林漁業者等を対象としたセミナーや個別相談会等を開催。			セミナーや個別相談会等を開催し、事業の中で新たな製品の商品化が進められた。引き続き取り組みを強化したい。								
	自然体験型観光PR事業		「自然体験型観光」のPR活動を支援。			PR活動等の支援により、観光客の増加に結びついてきたが、最終年度は目標を下回った。引き続き取り組みを強化したい。								
④評価方法	終了後に目標値に関する評価シートを作成して評価した。													
⑤事後評価の公表方法	延岡市林務課のホームページに掲載予定。													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備推進交付金を活用した広域農道及び林道の一体的な整備により、農林業の振興や観光交流の活性化等の効果を概ね発現できると考えている。今後、さらに林道整備を進めることにより、アクセス向上による中山間地域の森林施業における効率化が見込まれる。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、林道整備を進めることにより、間伐実施の推進や山間部での観光増加等も含め目標のほぼ達成が見込まれる。このため、引き続き本地域再生計画に沿って事業を推進していきたい。一方、さらなる山間部での森林整備や観光・交流人口の増を図るために、引き続き林業担い手総合事業や観光PR活動も継続していきたいと考えている。													